



## 大会プログラム

第 1 日目 9 月 30 日 (土)

1. 自由研究発表(1) 第 1～第 11 分科会  
ポスター発表 (第 12 分科会)  
9:00～12:00

2. 定期総会  
13:00～14:00 まで

3. 公開シンポジウム  
14:15～17:15

第 2 日目 10 月 1 日 (日)

4. 自由研究発表(2) 第 13～第 22 分科会  
9:00～12:00

5. 課題研究 I～Ⅲ、特別課題研究  
13:00～16:00

6. ラウンドテーブル  
16:15～17:45

日本教師教育学会第 27 回研究大会実行委員長より（ご挨拶）

大会実行委員長 松川利広

奈良教育大学は、明治 21 年奈良県尋常師範学校として創設されて以来 100 有余年の歴史を有し、この間、奈良県の女子師範学校、青年師範学校の官立移管に伴う合併を経るなどして一貫して教員養成機関としての教育研究の充実・発展を図りながら、新学制発布の昭和 24 年 5 月に奈良学芸大学となり、昭和 41 年には奈良教育大学と改称し、現在に至っています。

本学は、奈良公園、東大寺、興福寺、春日大社など奈良のいにしえを感じられ、同時に登録されている世界遺産を容易に回ることができる場所に隣接しています。伝統ある日本教師教育学会第 27 回大会を、大和のいにしえを感じられる町、奈良で開催できますことを、大変光栄に思います。

大会の会場となる本学は、近鉄奈良駅、JR 奈良駅から市内循環バスで、10 分ほどの時間距離の場所にあります。高畑町（奈良教育大学）で下車いただきますとそこに正門があるという、大変便利な場所に立地しております。お時間がある場合は、近鉄奈良駅から、歩いて奈良町などを見学いただき、ゆっくり大学に来ることもできます。この機に、どうぞ奈良でゆったりとした気持ちを感じていただければと思います。

このたびは、9 月末の開催のため、発表件数などを心配しておりましたが、いざ本大会の発表申し込みの蓋を開けてみると、自由研究発表件数は 93 件、ポスターセッションは 4 件に達し、分科会として 22 分科会を設定することができました。さらにラウンドテーブルは 7 件の申し込みがあり、課題研究は、4 つと大変充実したプログラムとなりました。

大会会場校企画のシンポジウムでは、「教員養成と現職研修の連続性と非連続性の関係を問う」と題して、養成と研修の様々な場で実践されてきた会員にご登壇いただき、取組のこれまでとこれからや世界的な動きとも絡めながら、俯瞰的に、目指す姿と関わって養成と研修の連続性と非連続性を問う議論の口火を切っていただきます。この問題は、現在進められている教員養成コアカリキュラムや教員の資質向上に資する指標の開発とそれに基づく研修など、教職の専門性とは何かを問うと同時に、そこから見えてくる教師の在り方、子どもとの関わり、教師の生きがい等を問うことにつながり、現行の教員養成や教育政策を深いレベルで分析的に捉え直す議論を誘発するものと考えております。本学会は、教師教育にかかわる研究者、実践者の集まりであり、教育諸科学を横断的に問題を追究する学会の一つであるため、活発な議論になることを期待しております。

現在、9 月 30 日（土）と 10 月 1 日（日）の両日、奈良教育大学のキャンパスで、実り豊かな議論の輪が広がることを願って、大会実行委員で、いま精力的に下準備を重ねております。なお前日の 9 月 29 日（金）には、本学の附属中学校が公開研究会（研究主題：新学習指導要領を創造的に実現する教師力の開発）を開催しております。教員養成（教育実習）も視野に入れた研究を課題に取り上げておりますので、ご関心がございましたら、どうぞご参加いただけましたら幸いです。詳細は、大会のホームページから、附属中学校のサイトへリンクを張りますので、そちらをご覧くださいければと思います。



【会場までのアクセス】

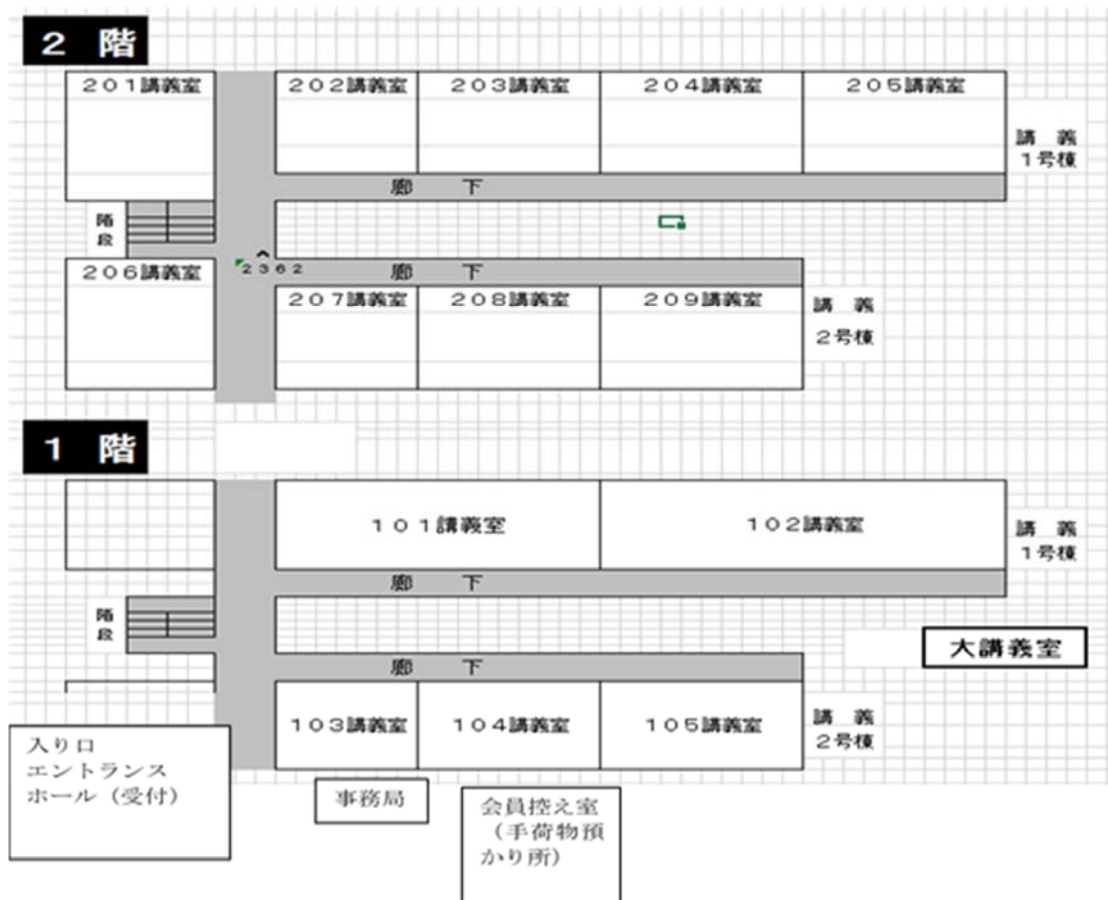
近鉄奈良駅，JR奈良駅から市内循環バスで，高畑町（奈良教育大学）で下車（10分ほどの時間距離，片道210円）してください。<http://www.nara-edu.ac.jp/access/>

【キャンパスマップ】

[http://www.nara-edu.ac.jp/campus\\_map/](http://www.nara-edu.ac.jp/campus_map/)

<大会の日程>

9月29日(金)		9月30日(土)		10月1日(日)	
		8:30~	受付開始	8:30~	受付開始
		9:00~12:00	自由研究発表 (1)	9:00~12:00	自由研究発表 (2)
		12:00~13:00	昼食	12:00~13:00	昼食
		13:00~14:00	定期総会	13:00~16:00	課題研究
14:30~	年報編集委員会	14:15~17:15	公開シンポジウム	16:15~18:00	ラウンドテーブル
17:00~20:00	新旧合同全国理事会(予定)	17:30~19:30	情報交換会		



### 【大会の参加費】

		会員参加費	非会員参加費	情報交換会費
事前申し込み (8月末まで)	一般	2000円	2500円	4000円
	学生	1000円	1500円	2500円
当日申し込み	一般	3000円	3500円	4000円
	学生	1000円	1500円	2500円

現職教員の方で大学院へ通われている方は学生扱いとなり、参加費・情報交換会費は学生の費用となります。なお確認のため、受付で学生証をご提示ください。

事前申し込みをされている場合、受付でそれが確認できない場合は、恐れ入りますが、8月31日までに指定口座にお振り込んだことを証明するもののご提示を求める場合があります。

ただし、9月1日以降の振り込みの場合は、当日参加と同じ扱いになり、割引金額対象となりません。この点ご注意願います。事前申し込み割引は、受付の混雑解決のために特別処置をしているものです。この点ご理解願います。

大会参加の受付は9月30日(土)、10月1日(日)とも午前8時30分から開始します。

### 【学会費について】

学会費の納入について、2017年度および過年度の学会費の納入をお願いします。事情により未納の会員の方は、当日、受付付近に学会事務局デスクを設置いたしますので、そちらで会費を納入できます。

### 【自由研究発表とポスターセッション (30日と1日両日とも9:00から12:00)】

自由研究発表は合計93件、ポスターセッションは4件の申込みをいただきました。97件の発表をそれぞれ分科会で、2日間に渡って分かれて多様な研究発表が行われます。

個人での発表は30分(発表20分 質疑応答10分)、共同発表は50分(発表35分 質疑応答15分)となります。

ポスターセッションは、第12分科会として、9月30日9:00～12:00まで設定をいたします。ポスター掲示板を用意します(A0番が2つ横に貼れるように準備します)。発表者は、発表時間中は、その教室にて、参加者の質疑応答に備えてください。

発表者は資料を60部ご用意ください。発表会場に参加できなかった会員のための発表資料提供コーナー(1階会員控室中に)を設けます。

また発表者は分科会開始10分前には、会場に集合下さい。

ポスターセッションを除き、各分科会とも、発表と質疑終了後、残り時間に応じて(最長で12:00まで)総括討議を行います。原則として、発表者は総括討議が終了するまで分科会会場に在席して下さい。事情で途中退出される場合は、事前に司会者にその旨伝えて下さい。

### 【発表会場の機材について】

全ての発表会場に、プロジェクターとスクリーンが設置されています。

入力ケーブルは、VGA 仕様（D-SUB15 ピン）と HDMI の両方があります。

Mac (Ipad を含む)、Microsoft Surface、タブレット PC、ミニノート PC を使って発表をする場合は、ご自身で VGA ディスプレーアダプターか、HDMI アダプターをご持参下さい。

教室にコンピュータ（Windows8）が設置してありますが、発表者の意図する形でアプリケーションや操作などが機能するとは限りませんので、原則、各自ご持参下さい。

発表者は、分科会開始の 10 分前には来場し、発表前に必ず各自使用機器との接続チェックを済ませて下さい。準備時間は発表時間に含まれますので、その点、ご了承下さい。

コンピュータから音声を出力する場合は、HDMI アダプターをご使用下さい。VGA ディスプレーアダプターを使用する場合は、音声用ケーブルを各自ご用意下さい。

大学内は、edurome が設定されています。登録をしている方は、Wi-Fi でのインターネット利用が可能ですが、接続に関する保証を大会実行委員会ではできません。そのため、確実に発表で使いたい場合は、各自 Wi-Fi ルータをご用意下さい。

また映像の出力に関わって、DVD、VHS をご利用したい場合は、申し訳ないですが、各自対応ドライブやデッキをご用意下さい。

### 【定期総会】

9 月 30 日（土）13:00 から、大講義室で行います。会員の皆様の参加をお願いいたします。

### 【情報交換会】

9 月 30 日（土）17:30 から 19:30 に、会員相互の情報交換と親睦を深めるため、キャンパス内の大学生協「なつきょん食堂」にて情報交換会を開催いたします。奈良ならではの日本酒をはじめ、各種お飲み物、お料理を用意しております。どうぞみなさまのご参加をお待ちしております。

### 【その他】

(1) 自家用車の校内への乗入れは基本できません。

(当日展示物や機材を持ち込むなどの場合は要問合せ願います)

(2) すでにご連絡をしましたが昼食に生協を利用できません。大会開催中の土日営業はしていないため、各自ご用意願います。またお弁当の希望（お弁当販売：お茶付き 1000 円）をされていた方は、受付にて、お受け取り下さい。

(3) 書籍の販売に関しては、学会大会への協力企業に限定させてもらっています。事前にご連絡しているように、発表者による会場での著書の販売は禁止とさせていただきます。

教室別タイムテーブル

\*大会会場・大会本部（情報交換会・保育室以外）は全て、講義棟の1階と2階です。

\*情報交換会は、大学生協（なつきょん食堂）です。保育室は、受付にお尋ね下さい。

	9月30日（土）					10月1日（日）			
	9:00 ～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:00	14:15 ～ 17:15	17:30 ～ 19:30	9:00 ～12:00	12:00～ 13:00	13:00～16:00	16:15～17:45
101	自由1					自由13		課題研究Ⅰ	ラウンドテーブルⅠ
102	自由2					自由14		課題研究Ⅱ	ラウンドテーブルⅡ
103	大会事務局本部					大会事務局本部			
104	会員控え室1（兼手荷物預かり所）					会員控え室1（兼手荷物預かり所）			
105	会員控え室2（兼図書紹介・販売）					会員控え室2（兼図書紹介・販売）			
大講義 室	自由3		定期 総会	シンポ ジウム		自由15			
201	自由4					自由16		課題研究Ⅲ	ラウンドテーブルⅢ
202	自由12								
203	自由5					自由17			
204	自由6					自由18			
205	自由7					自由19			
206	自由8					自由20		特別課題 研究	ラウンドテーブルⅣ
207	自由9								ラウンドテーブルⅦ
208	自由10					自由21			ラウンドテーブルⅤ
209	自由11					自由22			ラウンドテーブルⅥ
教職大 学院演 習室2	10:00～10:30 託児所					9:00～17:45 託児所			
生協食 堂					懇親会 会場				

自由研究発表(1)

ポスター発表

9 月 30 日 (土) 大会第 1 日

9:00-12:00



司会： 船寄 俊雄（神戸大学）

関川 悦雄（日本大学）

9:00 - 9:30 ~~演劇という場で生まれる〈教師〉の身体—教員養成における教育実践を紐解く—~~

○川島 祐子（北海道教育大学） **キャンセル**

9:30 - 10:00 「開放制」原則下の規制緩和と教員養成の構造変容に関する調査研究(1)

—2005年抑制策撤廃後の小学校教員養成の動向と課題—

○岩田 康之（東京学芸大学）大和真希子（福井大学）

米沢 崇（広島大学）藤田 里実（流通科学大学）

山口 晶子（東京成徳大学）

早坂めぐみ（東京学芸大学大学院）

10:00 - 10:50 教師の生活・意識・誇り・専門性と教育改善の可能性に関する調査研究

—教師の指導環境・負担感・仕事満足の構造と若手・中堅・ベテランの違いを中心に—

○藤田 英典（共栄大学）○和井田節子（共栄大学）

鈴木 悠太（東京工業大学）

10:50 - 11:20 教科に関する科目と教職に関する科目の「大きくくり化」を踏まえた新しい教職課程科目（複合科目）の開発

—中学校社会科免許を事例として—

○田中 泉（広島経済大学）

司会： 小島 勇（東京電機大学）  
富田 福代（大阪教育大学）

9:00 - 9:30 教師教育における特別支援学校でのボランティア活動の果たす意義に関する考察

○坪井 龍太（東洋英和女学院大学）

9:30 - 10:00 郷土かるたを利用した小学校教諭による教職観と授業実践（第2報）

○田中 卓也（共栄大学）

10:00 - 10:30 ~~保育・教職実践演習に関する—考察—~~ 資質能力を視点に—

(キャンセル)

○赤嶺 優子（沖縄キリスト教短期大学）

10:30 - 11:20 「教育学部改革に関する有識者調査」の結果について—データの報告と考察—

○浦野 東洋一（帝京大学）

○福島 健介（帝京大学）

○佐藤 高樹（帝京大学）

司会：新井保幸（淑徳大学（非））

中嶋 みさき（女子栄養大学）

- 9:00 - 9:30 教職の社会化過程としての「観察による徒弟制」とその類型分析  
—教員養成学部新入生の学校経験と教職観—  
○太田 拓紀（滋賀大学）
- 9:30 - 10:00 E. アイズナーの質的探究論に関する検討  
—教師教育の視点に着目して—  
○近藤 茂明（名古屋大学・非常勤）
- 10:00 - 10:30 唐澤富太郎の奈良女子高等師範学校7年間における教師教育学研究  
○土井 進（淑徳大学）
- 10:30 - 11:00 教師教育学における「理論」の考察  
—D. ショーンによる「行為における知（knowing-in-action）」を記述する定項（constants）の検討を通じて—  
○岡村 美由規（広島大学大学院教育学研究科）
- 11:00 - 11:30 カリキュラム・マネジメントにおける「評価」概念の再考と教育 —研究的マネジメントサイクルの構想—  
○北川 剛司（奈良教育大学）

司会：土屋 基規(神戸大学(名))  
前田 一男(立教大学)

- 9:00 - 9:30 師範学校存廃論争に関する一考察  
—二校存置した道府県の事例を中心に—  
○小田 義隆(近畿大学)
- 9:30 - 10:00 障害のある教員に対する雇用政策の歴史と現状  
○中村 雅也(立命館大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
- 10:00 - 10:30 グローバル社会を生き抜く生徒の資質・能力育成のための自律的な学びの促進  
—自己調整学習の概念を援用した英語科指導改善プログラムの開発—  
○西田 寛子(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所)
- 10:30 - 11:00 教師の語りにおける「教師としての責任」  
—アカウンタビリティ政策の経験を中心に—  
○志津田 萌(東京大学大学院院生)
- 11:00 - 11:30 小学校における担任教師の特性と児童の学習態度との関連性  
○高木 誠一(国際武道大学)

司会：高野 和子（明治大学）  
樋口 直宏（筑波大学）

- 9:00 - 9:30 職場外におけるノンフォーマル学習による教師の学び  
に関する考察  
－学生と現職教師による交流を通して－  
○阿曾 奈生（兵庫教育大学大学院）
- 9:30 - 10:00 教育実習を生かした学びについて1  
－幼稚園における一日の流れへの着目－  
○安部 孝（名古屋芸術大学）
- 10:00 - 10:30 大学教員養成プログラムにおける相互授業観察に関する研究  
○根岸 千悠（大阪大学全学教育推進機構）
- 10:30 - 11:00 教員養成における体験活動を通じた教職志望学生の学びの  
形成過程に関する一考察  
－広島大学教育学部フレンドシップ事業を事例にして－  
○米沢 崇（広島大学）
- 11:00 - 11:30 教員養成と教育の情報化  
○菊地 紀子（帝京短期大学）

司会： 久保 富三夫（立命館大学）  
中井 隆司（奈良教育大学）

- 9:00 - 9:30 学生たちによる模擬授業の振り返り場面における省察の変容  
—対話型模擬授業検討会の取り組みを通して—  
○渡辺 貴裕（東京学芸大学教職大学院）  
岩瀬 直樹（東京学芸大学教職大学院）
- 9:30 - 10:00 生徒指導の意識を高める「特別活動論」の取り組み  
—大学生を対象にしたグループワークの実践から—  
○藤原 靖浩（大阪市立大学）
- 10:00 - 10:30 小学校教員志望学生の教師イメージの特徴  
—2016・2017年調査の結果から—  
○梶井 大輔（プール学院大学）
- 10:30 -11:20 教育実習の現状と課題  
—教職志望学生に対する2016年度質問紙調査から—  
○川村 光（関西国際大学）  
○長谷川哲也（静岡大学）  
○紅林 伸幸（常葉大学）

司会：高旗 浩志（岡山大学）

高谷 哲也（鹿児島大学）

- 9:00 - 9:30 資質・能力の「三つの柱」の育成を目指す社会科学習  
ー学習過程の改善と評価の充実を通してー  
○大山 和則（愛知県知立市立八ツ田小学校）
- 9:30 - 10:00 離島の学校と教師の実態調査に基づく政策課題の考察  
○木塚 雅貴（京都府立医科大学）
- 10:00- 10:50 教育委員会指導主事による校内研修のコンサルテーション  
の現状と課題  
○木原 俊行（大阪教育大学）  
○島田 希（大阪市立大学）
- 10:50 - 11:20 校内研究協議会の方法と教師の学びの変容に関する研究  
ー「プログラムデザイン曼荼羅図」と「ワールドカフェ方式」  
を取り入れた協議会の効果ー  
○小堂 十（杉並区立西田小学校）

司会：子安 潤（愛知教育大学）

伏木 久始（信州大学）

- 9:00 - 9:30 アクティブ・ラーニング型授業の実践力向上を支える  
行政研修デザインに関する研究  
○飯窪 真也（東京大学高大接続研究開発センター）
- 9:30 - 10:00 学校防災力・育成に関する実践的研究  
—避難所開設マニュアルの作成を通して—  
○渡辺 淳（愛知教育大学教職大学院）
- 10:00 - 10:30 学校管理職の意識と責任—教員研修における試行調査から—  
○百合田 真樹人（独立行政法人教職員支援機構）  
香川奈緒美（島根大学）
- 10:30 - 11:00 教員養成・教師教育におけるアクティブラーニングの実践課題  
○香川 奈緒美（島根大学）  
百合田 真樹人（独立行政法人教職員支援機構）
- 11:00 - 11:30 ビオトープの教育資源活用に関する研究(5)  
—子どもの学びの実感を高める活動デザイン—  
佐島 群巳（東京学芸大学名誉教授）  
○根本 徹（東京学芸大学附属小金井小学校）  
菊地紀子（帝京短期大学）  
小堂 十（東京都杉並区立西田小学校）  
渋谷あゆみ（東京都杉並区立久我山小学校）



司会：中田 正弘（帝京大学）

森 透（福井医療大学）

9:00 - 9:30 教員力量を向上するための音楽科教育

—他の教科教育とかかわる視点を中心に—

○董 芳勝（創価大学）

9:30 - 10:00 教育実践における暗黙知について

—新卒教員のクラスを担当して感じたこと—

○岡 篤（神戸市立有野台小学校）

10:00 - 10:30 教師が成長する契機に関する一考察

—研究開発学校の指定を受けた教師の意識の変容から—

○市川 公明（信州大学）

谷塚 光典（信州大学）

10:30 - 11:00 授業研究を通じたプロフェッショナル・キャピタルの構築に

関する実証的研究

—授業研究の類型化の試み—

○千々布 敏弥（国立教育政策研究所）

司会：添田 久美子（和歌山大学）  
田上 哲（九州大学）

- 9:00 - 9:30 初めての異動後の困難に関する研究  
○町支 大祐（東京大学 大学総合教育研究センター）
- 9:30 - 10:00 授業記録にみる教師の子ども観に関する事例分析  
○的場 正美（東海学園大学）
- 10:00 - 10:30 模範授業による「理科指導に関する知識・技能」の向上  
—「初等理科教育法」における実践から—  
○大前 暁政（京都文教大学）
- 10:30 - 11:00 教えることの「架け橋モデル」への転換・その2  
—自由記述の分析を通して—  
○小沢 一仁（東京工芸大学）
- 11:00 - 11:30 模擬授業を中心とした英語教職課程の整備  
—省察コメントに基づく効果の検証—  
○井上 聡（環太平洋大学）

司会：赤星 晋作（広島市立大学）

吉岡 真佐樹（京都府立大学）

- 9:00 - 9:30 米国の特殊教育教師の育成指針  
—特殊児童協会の職務規定を中心に—  
○志茂 こづえ（東京大学大学院生）
- 9:30 - 10:00 ウガンダ初等教員研修に対する教員と教員指導員の認識  
—CCT による研修を中心に—  
○江藤 紘誌（広島大学）
- 10:00 - 10:30 中国の「優良」私立小学校における教員研修  
—S 省の「優良」私立校の事例にみる教員資質向上策—  
○孫 群姍（京都府立大学大学院）
- 10:30 - 11:00 米国教師教育における全米教職専門職基準委員会 (NBPTS) の  
近年の動向とその影響に関する研究  
○藤本 駿（四国学院大学）
- 11:00 - 11:30 教員養成におけるグローバル化への対応—教育学部と  
教職大学院との連携を通して—  
○長島 明純（創価大学）  
董 芳勝（創価大学）

いじめや不登校経験に関する意識調査－教職志望との関係性－

○田実 潔（北星学園大学）

教育実習前支援アンケートにおけるメタ認知に関するより適切なフィードバック内容の検討— メタ認知高低群別の主観得点と客観得点との相関分析 —

○林 美都子（北海道教育大学）  
半澤 礼之（北海道教育大学）

教員養成大学における「酪農家民泊体験実習」を通じた  
学生の地域理解と時間的展望（キャンセル）

○半澤 礼之（北海道教育大学）  
宮前 耕史（北海道教育大学釧路校）  
内山 隆（北海道教育大学釧路校）

教師の多忙と子どもの社会経済的背景（SES）の関連の検討

○石島 照代（東京大学大学院教育学研究科付  
属学校教育高度化・効果検証センター）  
勝野 正章（東京大学）  
福嶋 真治（東京大学大学院生）

## 第27回 定期総会

日 時 : 2017年9月30日(土) 13:00~14:00  
場 所 : 大講義室 1階  
内 容 : 前日の全国理事会で、議題等が確定します。当日、別紙で配布しますが、大まかには以下のような事項が予定されています。

### 1. 報告事項

- 1) 会務報告
- 2) 年報編集委員会や研究委員会等の各種委員会報告
- 3) その他

### 2. 審議事項

- 1) 2017年度予算に関する件
- 2) 今後の活動計画に関する件
- 3) 次年度第28回研究大会会場に関する件
- 4) その他

\* 教員養成制度等が変わろうとしているとき、学会活動の一年間の振り返りと、今後の研究活動、学会活動について確定する重要な機会です。お昼とシンポジウムの中の忙しい時間ですが、是非ともご参加ください。

### <情報交換会>

9月30日(土) 17:30~19:30 (於: 奈良教育大学大学生協 なっきょん食堂)  
会員相互の情報交換と親睦を深めるため、キャンパス内の生協食堂にて情報交換会を開催いたします。奈良ならではの日本酒をはじめ、各種お飲み物、お料理を用意しております。どうぞみなさまのご参加をお待ちしております。

公開シンポジウム

〈テーマ〉

『教員養成と現職研修の連続性と非連続性の関係を問う』

〈時間〉

9月30日（土） 14:15～17:15

〈場所〉

大講義室

\* シンポジスト

高校・大学・教育委員会連携による職能およびキャリアに関する能力の開発  
吉村 雅仁・河崎 智恵（奈良教育大学）

指標及び研修計画策定に向けた奈良県の取組  
廣見 敦志（奈良県教育委員会）・前田 康二（奈良教育大学）

『社会的信頼に込める証』となる教員免許状実質化への取り組み  
—教員養成のスタンダードとコアカリキュラムの構築過程を俯瞰して—  
長澤 憲保（兵庫教育大学）

教育者としての体幹を作っていく学びのシステムの構築  
—養成と研修の連続性と教員の生涯発達—  
武田信子（武蔵大学）

\* 指定討論者

岩田 康之 （東京学芸大学）

\* コーディネーター

小柳 和喜雄 （奈良教育大学）

自由研究発表(2)

10月1日(日)

大会第2日 9:00-12:00

司会：玉井 康之（北海道教育大学釧路校）  
赤沢 早人（奈良教育大学）

- 9:00 - 9:30 実習指導教員は、教育実習から何を学ぶか  
—教育実習ノート・リフレクションの分析を通して—  
○深見 智一（北海道鶴居村立幌呂小学校）
- 9:30 - 10:00 小学校観察実習における学生の学びの軌跡（その2）  
—観察実習の改善に向けて—  
○時田 詠子（群馬医療福祉大学）
- 10:00 - 10:30 家庭科若手教員による教育実習経験への振り返りに関する考察  
○神保光希（藤女子大学大学院生）  
伊井 義人（藤女子大学）
- 10:30 - 11:00 教育実習事前指導プログラムの改善と学生の変容  
○青木香保里（愛知教育大学）  
荒井 眞一（札幌大谷大学）
- 11:00 - 11:50 <授業指導力と授業研究力をもつ教職志望学生>育成に関する  
実践研究  
—電大理工15年間の「<分かち合い>授業研究」による  
展開から—  
○小島 勇（東京電気大学）  
○立川琢也（東京電気大学院生）  
○木暮孝太（東京電気大学生）



司会：玉村 公二彦（奈良教育大学）  
三村 和則（沖縄国際大学）

- 9:00 - 9:30 『教職実践演習』における試み②  
—特別支援学校小学部との造形合同授業を通して—  
○堀田 英子（日本大学）  
厚谷秀宏（筑波大学附属大塚特別支援学校）
- 9:30 - 10:00 教員養成と現職研修の連続性の工夫  
—SAME（学校と道德教育）研究会の活動を通して—  
○竹田 敏彦（安田女子大学）
- 10:00 - 10:30 栄養教諭養成課程における「生徒指導論」の実践と効果  
—実践的指導力とチーム学校の意識の向上を目指して—  
○新井 英志（天使大学）
- 10:30 - 11:20 教員養成大学における教職キャリアカウンセリングの検討  
—欧州「Career Counselling for Teachers」の日本版開発  
に向けて—  
○河崎 智恵（奈良教育大学）  
○吉村 雅仁（奈良教育大学）  
古田 壮宏（奈良教育大学）

司会：百合田 真樹人（独立行政法人教職員支援機構）  
米沢 崇（広島大学）

9:00 - 9:30 教職員の教育活動とその熟達に関する意識調査から  
○谷 哲弥（向日市立第6向陽小学校）

9:30 - 10:00 若手教員教育における拠点校指導教員の指導体験の意味  
—TAEによる内省プロセスの可視化—  
○坂本 喜代子（帝京大学）

10:00 - 10:30 小学校若手教員の授業力向上のための研修システムの開発  
と改善  
○前田 康二（奈良教育大学）

10:30 - 11:20 eラーニング教材を活用した初任者の授業力向上研修  
○杉山 正典（株式会社早稲田アカデミー）  
○牛嶋 孝輔（株式会社早稲田アカデミー）

司会：木原 俊行（大阪教育大学）

藤本 駿（四国学院大学）

9:00 - 9:30 教師の「観」の転回を促す省察的实践に関する研究  
—文学作品の読みを通して—

○畔上 一康（信州大学）

9:30 - 10:00 高校初任者研修における授業リフレクションの試み  
—リアリスティック・アプローチに基づくリフレクション  
シートを用いて

○松本 泉（静岡県総合教育センター）

10:00 - 10:30 リフレクションのためのツールとその意義

○若木 常佳（福岡教育大学）

10:30 - 11:00 若手教員と中堅・ベテラン教員の協働的な学びが実践の変容に  
及ぼす影響  
—省察を用いた小学校学年部の授業研究を通して—

○橋本 泰介（奈良教育大学教職大学院生）

司会：森 久佳（大阪市立大学）  
千々布 敏弥（国立教育政策研究所）

9:00 - 9:30 教師教育者の実践研究

○齋藤 眞宏（旭川大学）

9:30 - 10:00 セルフスタディと我が国で行われている教育研究  
とのメソドロジーの比較

○佐々木 弘記（中国学園大学）

10:00 - 10:30 日本におけるセルフスタディ導入の意義と課題

○武田 信子（武蔵大学）

10:30 - 11:20 対話型校内研修への改革に対する教員の受け止め方に  
関する一考察

○高谷 哲也（鹿児島大学）  
○山内 絵美理（鹿児島大学大学院生）

司会：木塚 雅貴（京都府立医科大学）

望月 紫帆（奈良教育大学）

- 9:00 - 9:30 教師の自己改革を促す子どもの事例に関する研究  
○田上 哲（九州大学）
- 9:30 - 10:00 教師分析を踏まえた教師の成長に関する研究  
—小・中学校の学級経営を通して—  
○川上 知子（名古屋大学大学院生：愛知県教員）
- 10:00 - 10:30 在日コリアンを対象とした外国人児童生徒教育における  
教師の専門性  
—Y市小学校外国人教育研究会の教員研修会をめぐって—  
○磯田 三津子（埼玉大学）
- 10:30 - 11:20 ICT 利活用による教職大学院科目と免許更新講習科目  
の有機的連動の試み  
○富田 福代（大阪教育大学）  
○中西 修一（近畿大学）  
○尾崎 拓郎（大阪教育大学情報処理センター）  
○乾 武司（近畿大学附属高等学校・中学校）

司会：島田 希(大阪市立大学)  
藤原 顕(福山市立大学)

- 9:00 - 9:30 小中連携体制構築に関する研究  
—カリキュラムリーダーシップの視点から—  
○上坂 政仁(愛知教育大学大学院生)
- 9:30 - 10:00 教師の実践的知識の発達を支える教師についての事例研究  
○田中 里佳(東京都教員)
- 10:00 - 10:30 初任期の高校教師が直面する困難の検証  
○山口 晴敬(北海道札幌月寒高等学校)
- 10:30 - 11:00 校内人材育成の取組に対する若手教師とミドルリーダー  
の課題意識と改善の方向性  
○小玉 千春(帝京大学大学院生・荒川区立第七峡田小学校)
- 11:00 - 11:30 Teacher Leadership の概念と可能性に関する基礎研究  
○小柳 和喜雄(奈良教育大学)

司会：浜田 博文（筑波大学）  
和井田 節子（共栄大学）

- 9:00 - 9:30 英語教員研修に関しての一考察  
—異文化理解と協同学習を中心に—  
○吉野 康子（順天堂大学）
- 9:30 - 10:00 校内研究の実施方法と教師の効力感に関する一考察  
—市内小学校における取り組みの調査から—  
○荒井 香織（帝京大学大学院生）
- 10:00 - 10:30 授業改善のための、それぞれの現状と課題に沿った校内研究の  
あり方  
○関井 隆志（帝京大学大学院生）
- 10:30 - 11:20 学校組織の支援を目的とした教育委員会と研究者との連携の  
あり方の検討  
—日野市立小中学校を対象とした取り組みを事例に—  
○中田 正弘（帝京大学）  
○坂田 哲人（帝京大学高等教育開発センター）  
町支 大祐（東京大学大学総合教育研究センター）  
脇本 健弘（横浜国立大学）

司会：的場 正美（東海学園大学）  
森山 賢一（玉川大学）

9:00 - 9:30 教職大学院における学校拠点方式のカリキュラム評価  
○伏木 久始（信州大学）

9:30 - 10:00 研修プログラムにおける評価測定モデルの効果検証  
—教員養成開発連携機構研修・交流支援部門の取り組みから—  
○荒巻 恵子（帝京大学）  
下田 誠（東京学芸大学）  
望月 耕太（神奈川大学）  
三石 初雄（帝京大学）

10:00 - 10:30 「教員養成に携わる教職員の力量構造」開発の意義について  
○下田 誠（東京学芸大学）  
三石 初雄（帝京大学）  
荒巻 恵子（帝京大学）  
望月 耕太（神奈川大学）

10:30 - 11:00 前仮説段階あるいはmessing about を考慮した  
探究学習と教員研修  
○村上 忠幸（京都教育大学）

11:00 - 11:30 現職研修と教師の語りからみる国際バカロレア教師の専門性と  
その向上に関する一考察 - Japanese Literature に焦点をあて  
て -  
○森口 陽平（大阪大学大学院生）



司会：蔵原 清人（工学院大学(名)）  
土井 進（淑徳大学）

9:00 - 9:30 「師表」という教師像について

○大西 圭介（筑波大学大学院生）

9:30 - 10:00 専門学校教員のライフストーリー研究

○瀧本 知加（東海大学）

10:00 - 10:30 小学校教員を目指す学生に主体的・対話的で深い学びを育む  
授業に関する実践研究

—教科「体育」の学修を通して—

○西川 潔（関西福祉科学大学）

10:30 - 11:20 教員養成教育の改革と地域協働活動の充実のために

—大学改革強化推進事業の提言—

○島崎 英夫（大阪教育大学）

○島 善信（大阪教育大学）

○臼井 智美（大阪教育大学）

## 教師教育学の独自性と方法論研究—若手教員の直面する問題—

## 〈趣 旨〉

近年、教員の大量採用に伴って新採教員の職場への適応が課題になっている。授業ができない、同僚と協力や相談ができないといった職務上の問題から始まって、ノイローゼや自殺にまでいたる場合がある。

こうした問題について、教員（となるもの）の資質能力が十分ではない、実践的指導力を備えていないという批判があり、教員の養成、研修の改善が論じられている。また採用にあたって十分な資質能力を備えているものを選抜するという観点から採用試験等の改善が図られている。しかしこうした視点からは養成や研修は整備されればされるほど長期化し、内容も高度化していく傾向がある。若い教員（となるもの）の資質が十分であるのか、どういう問題があるのかとともに、大学で養われた資質能力は職場でどう発揮されているか、発揮される条件はどのようにあるのかが問題である。

今回の課題研究では、こうした視点に立って教員の職場の環境がどうなっているかを、3つの角度から報告をいただくものである。なお、教師教育研究の立場からいえば、これまで養成、採用、研修の3分野があるといわれてきたが、これに第4の領域として資質能力を発揮できる職場環境の問題を位置づけるべきという提案を含んでいるものである。

司会： 望月耕太（神奈川大学） 蔵原清人（工学院大学（名））

## はじめに 研究の経過と課題

蔵原清人（工学院大学（名））

## 報告 1. 教員の社会意識調査をふまえて

紅林 伸幸（常葉大学）

## 報告 2. 学校カウンセラーとして感じること

長山 秀子（平安女学院中学校・高等学校）

## 報告 3. 教師教育の課題について

山中 和由（工学院大学（非））

## 教師教育研究の国際化と比較研究の課題

## &lt;趣 旨&gt;

今期は「教職をめぐる課題の変化と教師教育—国際比較研究の観点から—」というメインテーマに即し、1年目は教師教育の定量的評価という政策動向に対して教師教育研究がどのように応答できるかという観点から検討した。この問題を掘り下げて考えるため、2年目は教師や教師教育の「質保証」策を題材に、近年の制度改革が教師教育や教師教育研究をどのように変えつつあるのか、その影響について具体的に検討した。3年目となる今年は次のような内容について議論を深めたい。

昨年の報告では、教師の専門性をどのように定義づけ、教師教育の質保証策の中でいかに規定し活用するかが論点の一つであった。国内では2015年の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について—学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて—」において「教員育成指標」や「教職課程コアカリキュラム」が教職課程の質保証策として提案され、実現に向けた検討が既になされている。そこで今年は類似した海外の事例を取り上げ、教師の専門性を可視化し規定する仕組みを整えるとはどういうことか、それで教員養成の何が変わるのか、何を変えようとしているのか、などについて考える論点を提示したい。それらを総合しながら3年間の研究を締め括る議論ができればと考えている。

司会： 吉岡真佐樹（京都府立大学） 佐藤千津（東京学芸大学）

## 報告1 カナダの専門性基準の活用における評価機関の機能と役割

坂田哲人（帝京大学）

## 報告2 台湾における教員養成改革と質保証

小野寺香（奈良女子大学）

## 報告3 フィンランドにおける教師の専門性と教員養成の質的向上策

隼瀬悠里（福井大学）

教師教育における「実践性」と「高度化」  
－教職大学院の組織づくりを考える－

<趣 旨>

本課題研究ではこれまで、教師教育の「高度化」＝学士を超えるレベルでの養成教育＝に関して、なぜ学士では不十分か、どういうレベルなら課題の解決になるのか、それを可能にする条件は何か、といった点から「高度化」を考え、これとの関係で教師教育の「実践性」を考えていくことを企図した取り組みを行ってきている。

これまでは、日本の教師教育における「実践性」と「高度化」の課題を整理するとともに、主に諸外国（英国・韓国・米国・中国等）における、大学院レベルでの（入職前）教師教育の動向を検討してきた。今回のセッションでは、これまでの検討成果を踏まえつつ、現在の日本で整備が進められつつある教職大学院に関わって、その組織づくりの課題を探り、「実践性」と「高度化」の検討のまとめとすることを企図している。活発な参加を期待したい。

司 会 : 木内 剛（成蹊大学）

報告1. 教師教育の「実践性」と「高度化」をめぐる論点

岩田康之（東京学芸大学）

報告2. 大阪教育大学教職大学院の組織づくり

大脇康弘（関西福祉科学大学／大阪教育大学名誉教授）

報告3. 玉川大学教職大学院の組織づくり

森山賢一（玉川大学）

震災・学校危機と教師教育

〈趣 旨〉

本特別課題研究は、震災等によって学校危機に陥った学校の回復・改善にむけた実践を教師教育研究の視点から整理し、①教訓の継承 ②児童生徒のケアと成長支援 ③被災地の学校への支援 について検討し、未来に活かすことを目的としている。

司 会：和井田節子(共栄大学)

報告1. 池田小学校事件からの発信を視点として

松井典夫(奈良学園大学)

報告2. 大学の被災と復興を支える学生たち-大学での学びと安全なキャンパスをめぐって-

瀧本知加(東海大学)

## ラウンドテーブル

### I 高度専門職業人養成の教師教育における大学教員の資質要件に関する研究

(101教室)

企画者・登壇者等

富田 福代（大阪教育大学） 浦野 東洋一（帝京大学）

杉本 真理子（帝京大学）

<内容>

本発表内容は、平成26～28年度科研「高度専門職業人養成の教師教育における大学教員の資質要件に関する研究」で教職大学院を対象に実施した研究成果である。近年の専門職養成では「実践」が重要視され、養成カリキュラムの重点化や実務家教員の導入が行われた。それは大学における専門職養成の「理論と実践」の問題を包含し、「臨床の知」を「学」に形成するプロセスでもある。本研究は、実務家教員の比重が大きい教職大学院を対象とした質的研究を通して、教師教育を担う大学教員の資質要件を多面的に解明し多様な実態と課題が得られた。

### II 研究推進・若手交流支援企画「教職科目における実践と研究を考える —教職経験のある大学教員の語りを通して—

(102教室)

企画者・登壇者等

高旗 浩志（岡山大学） 鹿毛 雅治（慶応大学） 伏木 久始（信州大学）

三品 陽平（中部大学） 加島 大輔（愛知大学） 三石 初雄（帝京大学）

早坂 めぐみ（東京学芸大学大学院生） 望月 耕太（神奈川大学）

<内容>

教職科目担当者は、受講者に対して研究と実践をどのような方法で伝え、どのような教員養成を目指しているのか。現職教員は、自身の経験としての教員養成をどのように振り返り、どのような教員養成が望ましいと考えているのか。こうした問いについて、教育実践者と研究者双方のアイデンティティをもつと思われる話題提供者、及び、指定討論者を迎えることによって、参加者同士で考える場としたい。自身の研究活動及び教育実践を振り返ると共に、今後の教師教育の実践と研究について何らかのヒントを持ち帰ることのできる企画を目指す。

### Ⅲ マルチプル・インテリジェンスと探究学習 (201教室)

企画者・登壇者等

村上 忠幸 (京都教育大学)

発表者：村上 忠幸 村井 尚子

<内容>

探究学習においてマルチプル・インテリジェンス MI を活用したグルーピングを行い、協働的に messing about が成立することを体験し、省察を通じてその有効性を検討する。参加者を MI によりグルーピングし、探究学習による自由試行を経験として、その省察を行い MI も有効性を議論する。

### Ⅳ 「震災・学校危機と教師教育 (206教室)

—特別課題研究報告(集)の課題から学ぶ—

企画者・登壇者等

小島 勇 (東京電気大学)

<内容>

課題研究<特別課題研究>シンポジウムで3名が報告ですが、その他、報告集執筆者の数名を、ラウンドテーブルで短く報告願うワークショップとします。

### Ⅴ 教師養成と子ども文化—そして、遊べる教師がいなくなった(2) 教師と遊びを考える (208教室)

企画者・登壇者等

田中 卓也 (共栄大学) 香曾我部 琢 (宮城教育大学)

時田 詠子 (群馬医療福祉大学) 小林 彰彦 (日本大学)

中塚 健一 (太成学院大学)

指定討論：武田信子 (武蔵大学)

<内容>

本ラウンドテーブルは、昨年のラウンドテーブルの続編として、教師養成校における学生の実態をみながら、学生が教師になった際に必要となる資質、力量形成を考えることを通じて、遊びがいかに有効であるのかについてさまざまな議論を展開したいと考えている。このラウンドテーブルでは、遊びに関心のある方を対象に、大学教員、元小学校教諭、中学校教諭、遊びの専門家により、話題提供をいただき、さまざまな情報交換をはじめとして実りのあるラウンドテーブルにしたい。

## VI 教職大学院の組織運営上の課題を探る (209教室)

企画者・登壇者等

木内 剛 (成蹊大学 [名誉教授]) 岩田康之 (東京学芸大学)

<内容>

第9期課題研究「教師教育における実践性と高度化」部会では、今回、近年の日本の教育政策に沿って急速に整備が進められつつある教職大学院に着目して、修士レベルへの「高度化」と、そこにおける教師教育プログラムの「実践性」に関わる諸課題を、実際に教職大学院の運営に関わっておられる方々とともに検討していくラウンドテーブルを設定します。当日は、世話人の方から、ここしばらくの教職大学院に関わる政策動向と課題の整理を示した上で、参加者それぞれの関わっておられる具体的な課題を出し合う形で進めたいと考えております。

教職大学院関連の会員の方々の参加を特に歓迎します。

## VII 産学連携によるe-ポートフォリオを活用した 授業研究・カリキュラム・マネジメントの可能性を考える (207教室)

企画者・登壇者等

小柳 和喜雄 (奈良教育大学) 井上龍一 (奈良教育大学附属小学校)

富士通株式会社 文教システム事業本部

<内容>

大学・附属小学校・富士通の3者によるe-ポートフォリオ(「知恵たま」)を活用した授業研究の試みが、e-ポートフォリオを用いたカリキュラムマネジメント(試行)にどのように寄与できるか、志向的な取組で見えてきたことを語り合い、今後の展望を参加者と共に考えます。